

設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表	フライシート×1	インナーテント×1	インナー側フレーム【黒】×2 (グラスファイバー) コの字型	リビング側フレーム【灰】×2 (グラスファイバー) コの字型	パネルフレーム×2 (グラスファイバー) 直線型
	キャンピール×2 (スチール)	ハンマー×1	ペグ (スチール)	ロープ×8	カーセット用ジョイント×2 (PVC、ABS)
		※サービス品	※サービス品	※一部装着済み	



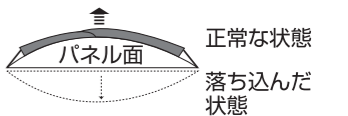
- テント内では、絶対に火気を使用しない。(火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ)
- 大雨・強風時はテントを設営・撤収しない。(けがや破損のおそれ)
- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)

- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- ランタンハンドル形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のペグとハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

- パネル面について
強風時や上下に開閉する際、内側に落ち込むことがあります。
その場合、フレーム交差部を引っ張り、正常な向きに戻してください。



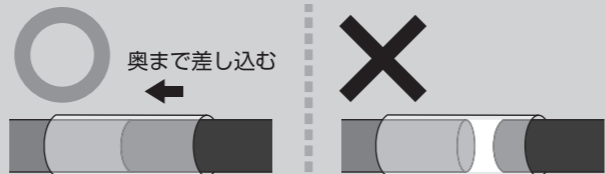
設営方法

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 すべてのフレームを連結して組み立てる



- フレームは、連結部の奥まで確実に差し込む。
(差し込みが不十分だと、フレームが破損するおそれ)



2 フライシートを広げて、インナー側フレームをスリーブに通す

！ スリーブに通す際、フレームは必ず押す。(フレームを引っ張ると連結部の接続が緩み、破損につながります)

- SUPPORT BELT SYSTEMのベルトをあらかじめ緩めておく。(手順①)
- フレーム先端にリングピンを差し込む。(手順③)

フライシート インナー側フレーム 風

前(入り口)

②スリーブを引っ張りながらフレームを押し込む

※スリーブの端を少し持ち上げると、フレームの連結部がひっかかりにくくなります。

①ベルトを緩めておく(4か所)

SUPPORT BELT SYSTEM

③リングピンを差し込む(2か所)

リングピン

Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- 風が強いときは、風上側をペグで軽く固定すると設営しやすくなります。

3 フライシートを持ち上げながら、反対側のフレーム先端にリングピンを差し込む

！ 1本のフレームに対して、両側から2人で支えながら作業する。(フレームに不必要な力がかかると折れることがあります)

反対側へスリーブを送る

スリーブ

①スリーブを引っ張る

②フレームを押し戻しながら、リングピンを差し込む(2か所)

前(入り口)

4 リビング側フレームをスリーブに通す

！ スリーブに通す際、フレームは必ず押す。(フレームを引っ張ると連結部の接続が緩み、破損につながります)

- フレーム先端にリングピンを差し込む。(2か所)

リビング側フレーム

インナー側フレームより上にくるように

①スリーブを引っ張りながらフレームを押し込む

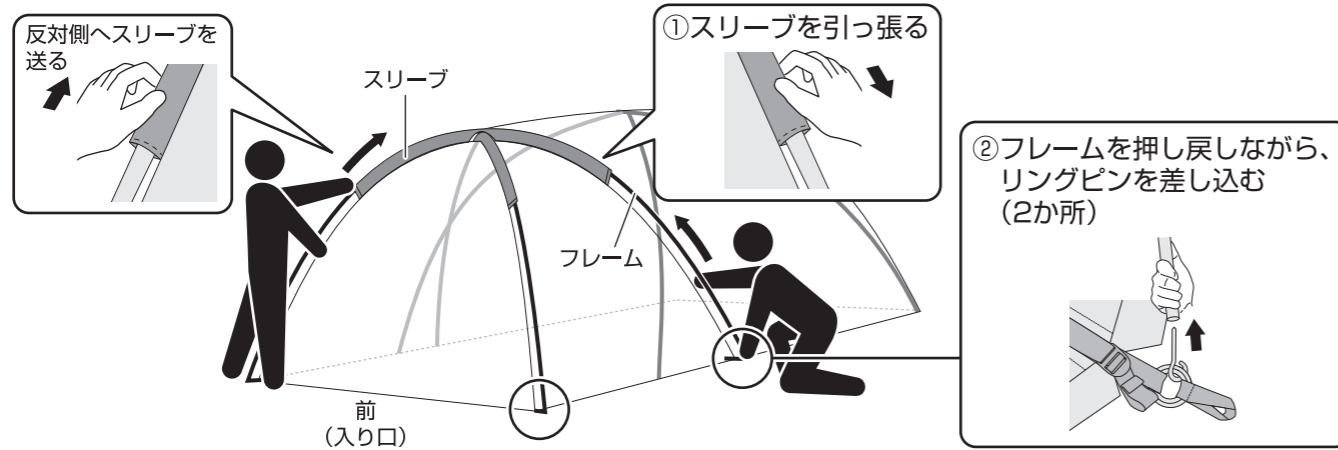
②リングピンを差し込む(2か所)

リングピン

続きは裏面を見てください。

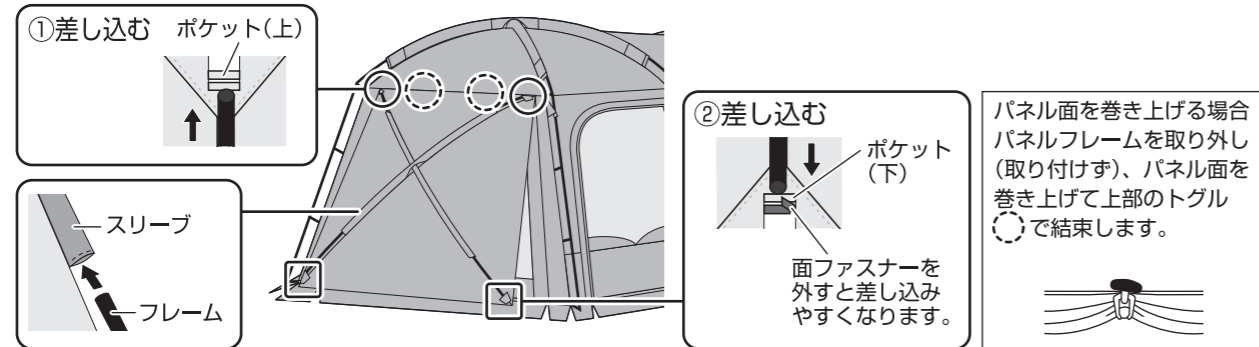
5 フライシートを持ち上げながら、反対側のフレーム先端にリングピンを差し込む

！ 1本のフレームに対して、両側から2人で支えながら作業する。(フレームに不必要な力がかかると折れることがあります)

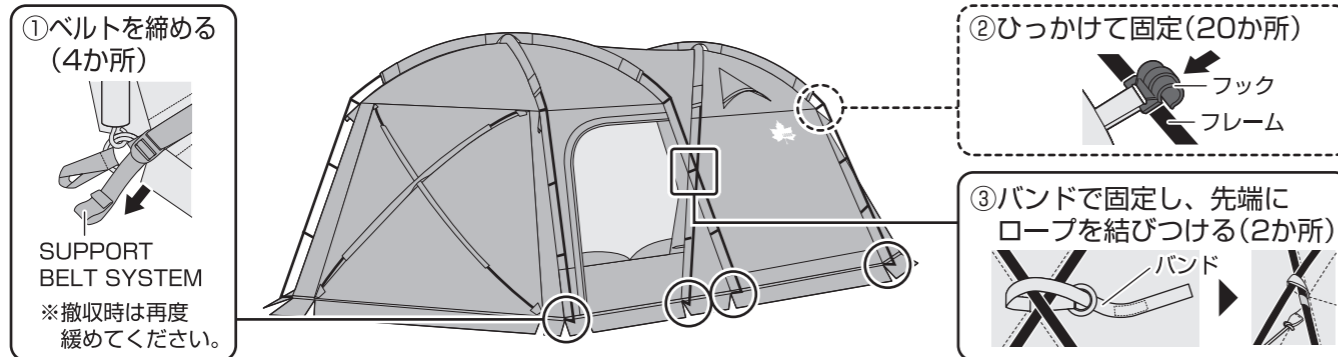


6 パネルフレームを取り付ける

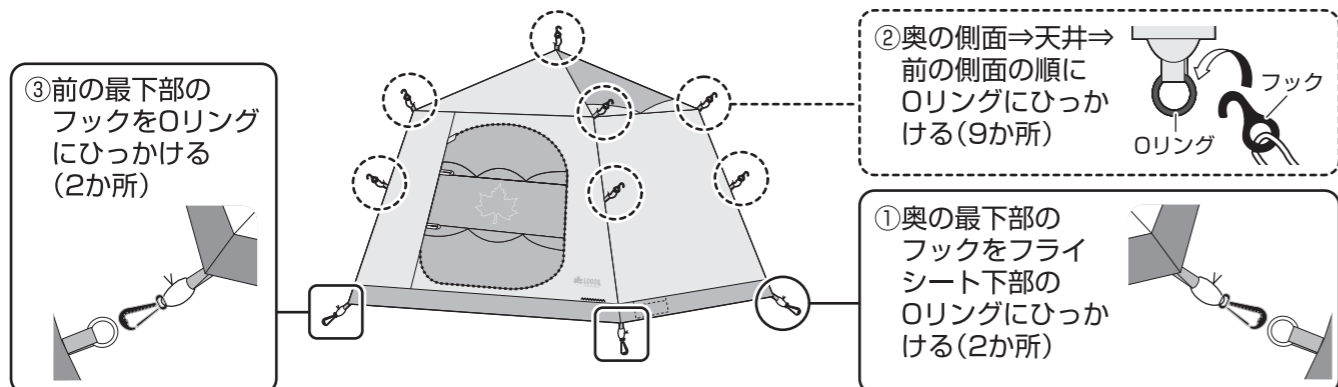
●パネル面を開け、少し持ち上げて行う。



7 ベルトを締め、フックとバンドで固定する

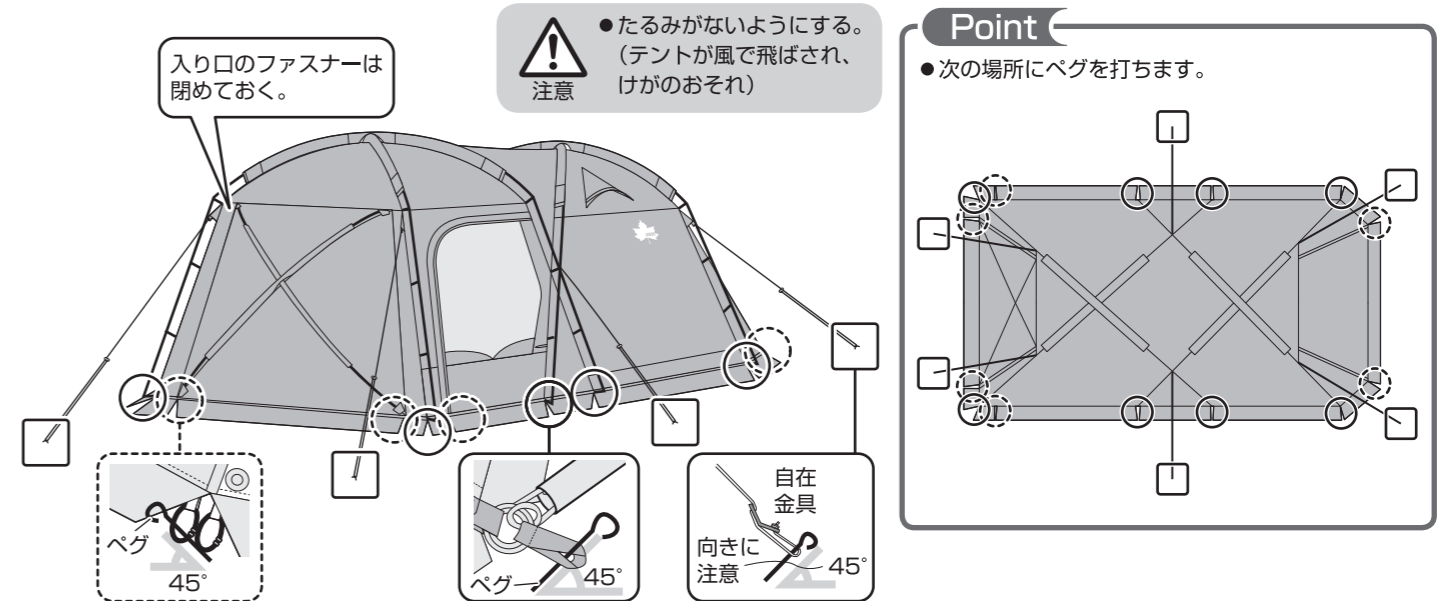


8 インナーテントを吊り下げる

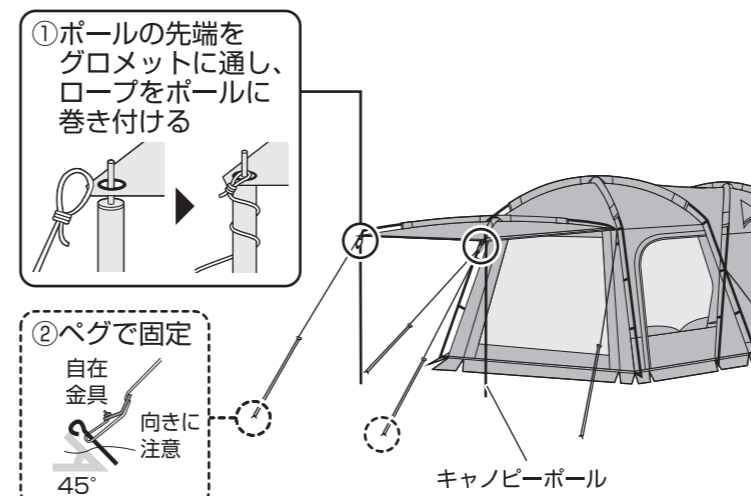


9 ペグで地面に固定する

●ペグは20か所打ち込む。

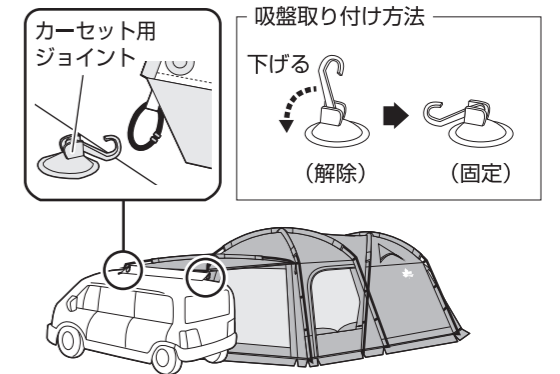


■ 入り口の固定のしかた 【キャンピーポールを使用する場合】



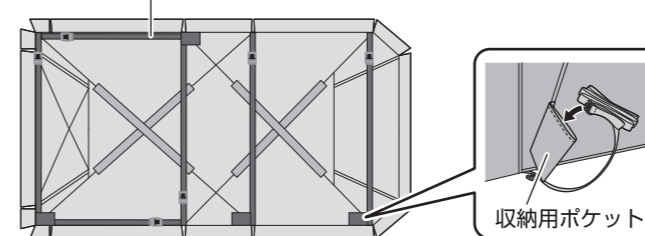
【車と連結する場合】

- ①取り付け場所が凹凸のない面を確認する
 - ②砂やホコリを布で拭き取る
 - ③吸盤を取り付ける
 - ④車を移動して、ゴムリングにひっかける
- ※取り付けの際は、車体に傷を付けないよう十分にご注意ください。



■ スタンディングベルトについて

- 設営完了後、スタンディングベルトはバックルを外して収納できます。
- スタンディングベルト



※撤収する際は、ペグを抜く前にすべてのスタンディングベルトのバックルを留め直してください。(テントが正常に立たないため)

Designed by
LOGOS CORPORATION

販売元
株式会社 **ロゴスコーポレーション**

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ ホームページ / www.logos.ne.jp
■ 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

商品ページ▶

